



あゝ 受達

第
5
号

特定非営利活動法人 愛逢
尼崎市小中島 1-20-21
電話 06-6493-1424
FAX 06-6493-1443
発行責任者 坂本敬子
発行日 2005年5月27日

障害者の支援事業

小さな、しかし
確実な歩みが始まりました。
サービス提供責任者 中田佳代子



今年の1月1日に事業認可を受けた障害者支援事業（身体障害者、知的障害者、障害児童の三事業）ですが、約5ヶ月が終わって利用者も少しづつ増え、ちょっとだけ「成果らしきもの」も見え始めてきました。今回は、その活動の様子の一部を報告させていただきます。

時間の止まった生活からの脱出が

ある40代の利用者さん。10代の時に交通事故に会い、大きな障害を負って以来、まったく家の外に出ることもなく約30年間「閉じこもり状態」。ほとんど時間の止まったような生活をしていました。

私達が関わった当初は、なかなかコミュニケーションもとれず、「果たして私達に何ができるだろうか」と心配でした。それが、関わるの中で少しづつ変化が現れ始めました。会話が復活し、何とか外出もできるようになったのです。

人が人と関わることで人になる

それが今では、（関わってまだ1ヶ月ですが）「あれが食べたい」「あそこへ行きたい」と意思表示されるようになり、私達の訪問する日を楽しみにされていて、時間近くになると玄関で待っていてくれるようになりました。「人は人と関わることで人になる」と言われますが、今回の経験はまさにその通りだと実感しています。

障害者の支援（サポート）には、難しさもありますが、こんな「小さな変化」に私達自身が「大きな元気」をもらっているような気がします。

配食サービスの毎日型への 移行について

昨年度より配食回数を週3回から6回（月、火、水、木、金、土）に増やすための準備を進めてまいりましたが、諸事情で体制が整いませんので、今しばらく週3回とさせていただきます。心待ちしてくださっていた皆様には申し訳なく思っています。

9月開始をめざしてがんばりますので、よろしくお願ひいたします。

配食サービス 橋平浩子



特定非営利活動法人
愛逢 第2回総会
—つなぎあい、支えあう地域をめざして—

2005年5月14日小中島福祉会館で、
第2回総会が10時より、記念講演会が11
時より開催されました。



「昨年、羽化してやっと飛べるようになった蝶がどれほど飛べたか審議して欲しい」との開会の挨拶で始まり、阪神医療生協の今西理事長より、「利益重視に陥ることなく今までに培ってきた互助の精神を貫いて活動して下さい」と激励されました。

次期市議員候補のひろなか信正さんもかけつけて下さりエールを送って下さいました。

続いて2004年、事業報告、会計報告の承認、2005年事業計画・予算の審議の承認を得、総会は終了。引き続き記念講演に入りました。



講演会
『NPOが近隣社会に
どう溶け込むか』

講師 NPO法人WAC ゆずり葉理事長
桑山 信子さんからのお話を聞く機会を得ました。講師の先生は、どの様にして地域にとけ込んでいかれたのでしょうか。桑山さんは、片マヒになられた叔父様の介護をするために、専門の勉強をされました。その後、経験を生かしていくつかの市民活動をされ、阪神淡路大震災後は、地元（立花町）に戻り、現在の活動を始められました。

「NPO法人」という名前が世間に広く浸透していないかったので、地域の方に理解してもらうのは大変なことだったようです。デイケアの様子が外から見てもらえるように工夫したり、関心を示してくださる方には声かけを繰り返されています。

子育てを終わった頃からカルチャーセンター通いをされたご婦人方も、中高年になり、親の介護がのしかかり、「他人のお世話になりません」と強気でもいられなくなり、ゆずり葉の戸をたたかれる方も出て来ました。

「ゆずり葉」で支援出来ることは受け、範囲外の時には他の事業所を紹介するなど、連携を取りながら、そして自分のカラーも出しながら活動するうちに地域にとけ込んでいったように思われるそうです。私達、愛逢も地域の方々に気軽に声をかけて頂ける事業体でありたいと願っています。



最初の1年そしてこれから…



“会員との協働で”

理事 小西 加保留

“元気な事業展開を”

NPO 法人「愛逢」が立ち上がって一年。「愛逢くらぶ」の10年の歴史はあるものの、正に期待と不安のスタートでした。結果は、新しい事業の運営も少しづつではあっても確実に動き始めています。「愛逢」の強みは、皆が着実に誠実に、自分たちのミッションを果たそうとしていることです。加えて、それぞれの持ち味、能力を発揮して、利用者の方とはいつも対等なパートナーシップを大事にしていけることです。

小さなニーズも大切に！

これから課題は、この強みをいかに地域の中で、さらに発展させていけるかにかかっています。今年度から展開することに決めた居宅介護支援事業では、地域のさまざまなニーズに触れる機会が広がることでしょう。小さなニーズも大切にして、いかに大きく地域の皆様と手をつないでいけるか。目標に照らして利用者の方々と共に現実を評価し、知恵を寄せながら、一歩一步、そして時には大胆に歩んでいくことを目指したいと思います。



新役員

坂本 敬子	(理事長)	滑川 清文
巽 エチ子	(副理事長)	橋平 浩子
香川 末子		平田 キミ子
兼行 栄子		水谷 俊平
楠元 きみゑ		米田 昌子
小西 加保留		石井 淑子 (監事)
中田 佳代子		長谷川 達雄 (監事)
中村 大蔵		



トライやる・ウイーク

(5/23 ~ 5/27)

2人の男前の中学生が、愛逢の助っ人にやってきました。

内藤大貴君（左）、谷山良輔君（右）



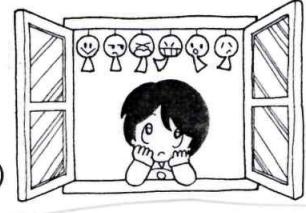
みんなで考えよう！！

介護予防と高齢者リハビリテーション

介護保険制度の見直し案で、パワーリハビリが注目されていますが、私たちが知っているリハビリとはちょっと違うみたいですね。高齢者になると心身の機能はどういうふうに変わっていくの？高齢者のリハビリって、どんなことをするの？介護予防と高齢者のリハビリテーションについてみんなで考えてみませんか？

● とき 2005年6月18日（土）午後1時30分から午後4時45分
● ところ 尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール（JR立花駅 南側スグ）
● 講演

- (1) 岡本 祐三 さん
(国際高齢者医療研究所 所長)
(2) 備酒 伸彦 さん
(神戸学院大学高齢者総合リハビリ学部助教授)
(3) シンポジスト
米田 昌子さん（さわやか・ケアマネージャー）
岡田 真名美さん（ロータスガーデン・ケアマネージャー）



● 参加費 無料（但し、資料代として1,000円頂きます。）

※ 申し込み・お問い合わせは、☎ 6493-1424（NPO愛逢）

ホット待望

4月25日JRの事故で「尼崎」は有名になりました。

多くの犠牲になられました方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

利便性追求から来る「リスク」の大きさにただただ驚き、怒りを覚えます。

しかし、近隣の住民の善意が自然的に発生し支援活動の一端を担われたことはうれしいニュースでした。

＜淑女＞

「おはようございます。

「いってらっしゃーい」阪急園田駅近辺でビラ配りをしていると、小学生の男の子がふり返って、『行ってきまーす』と、応えてくれた。 “にっこり”笑って見送りながらとても気持ちのよい朝になりました。

＜姫娘＞

編集委員会は、いかに会員の皆さんに「読まれるニュースにするか」七転八倒しています。これからは、会員参加の紙面作りに挑戦したいと思います。

会員のみなさん！俳句・川柳・写真・本の紹介など投稿してください。お待ちしています。

＜編集男＞

